

見よ、新しいことを

2020年元旦礼拝

イザヤ書 43章 15～21節

わたしは主、あなたたちの聖なる神
イスラエルの創造主、あなたたちの王。
主はこう言われる。海の中に道を通し
恐るべき水の中に通路を開かれた方
戦車や馬、強大な軍隊を共に引き出し
彼らを倒して再び立つことを許さず
灯心のように消え去らせた方。
初めからのことを思い出すな。
昔のことを思いめぐらすな。

見よ、新しいことをわたしは行う。
今や、それは芽生えている。
あなたたちはそれを悟らないのか。
わたしは荒れ野に道を敷き
砂漠に大河を流れさせる。
野の獣、山犬や駝鳥もわたしをあがめる。
荒れ野に水を、砂漠に大河を流れさせ
わたしの選んだ民に水を飲ませるからだ。
わたしはこの民をわたしのために造った。
彼らはわたしの榮譽を語らねばならない。

中村 哲 (なかむら てつ)



- キリストに出会う
 - 西南学院 (福岡のミッションスクール) で信仰を持つ。内村鑑三の「後世への最大遺物」を読みインパクトを受ける。
- キリストの言葉に導かれて
- アフガニスタンでの活動
 - 医師としてハンセン病の治療にあたる:1983年
 - アフガニスタン最貧地域に診療所開設:1990年
 - 大干ばつが起こり井戸を掘る:2000年
 - 同時多発テロ。一時撤退:2001年
 - 「緑の大地計画」発表。灌漑用水路作り:2002

中村 哲 (なかむら てつ)



- キリストに出会う
 - 西南学院 (福岡のミッションスクール) で信仰を持つ。内村鑑三の「後世への最大遺物」を読みインパクトを受ける。
- キリストの言葉に導かれて
- アフガニスタンでの活動
 - 医師としてハンセン病の治療に
 - アフガニスタン最貧地域に診療
 - 大干ばつが起こり井戸を掘る:2000
 - 同時多発テロ。一時撤退:2001年
 - 「緑の大地計画」発表。灌漑水路作り:2002

**100の診療
所より1本の
用水路を!**

(もともと昆虫学者になりたかったのだが)
「とはいえ、ここで自分の願いどおり昆虫学
に進んでおれば、ペシャワール赴任も、アフ
ガニスタンでの活動もなかったに違いない。
キリスト教との出会いが、それを可能にした
のである。特にマタイ伝の「山上の垂訓」の
くだりを暗記するほど読んだ。人と自然との
関係を考えるとき、その鮮やかな印象は今も
変わらない。『野の花を見よ。栄華を極めた
ソロモンも、その一輪の装いに如かざり
き。』」「天、共に在り」より



65万人の生
活を支える

25kmの
用水路



中村 哲（なかむら てつ）



- 「天、共に在り」（座右の銘）
 - 6歳の頃、突然の大病で数週間意識を失った。夢の中で出会った神らしき方が常に意識に在り、後に、「天、共に在り」という言葉がこれに重なった。
 - 「インマヌエル」（神が共におられる）の私訳
 - この言葉は、中村の生涯の「縦糸」となった「我々を根底から変える不動の事実である」
- 2019年12月4日 帰天
 - 命がけで愛したアフガニスタンで銃撃され死亡

(2001年。9.11の直後、米軍による大規模な空爆が予想され、87人の職員とアフガニスタンのワーカーを前に、こう言い放った。)

「諸君、この1年、君たちの強力で、二十数万名の人々が村を捨てずに助かり、命を繋ぎえたことを感謝します。すでにお聞きのように、米国による報復で、この町も危険にさらされています。…死を恐れてはなりません。しかし、私たちの死は他の人々のために意味を持つべきです。」

見よ、新しいことをわたしは行う。
今や、それは芽生えている。
あなたたちはそれを悟らないのか。
わたしは荒れ野に道を敷き
砂漠に大河を流れさせる。
今や、それは芽生えている。
あなたたちはそれを悟らないのか。